

V 用語解説



用語解説

(五十音順：本文中※印で表記)

◆ EPDS (P.27、48)

エジンバラ産後うつ病質問票 (Edinburgh Postnatal Depression Scale) のこと。イギリスで開発された産後うつ病のスクリーニング票で、産後の母親に対して効果的な支援を実施するために活用される。

◆ 希死念慮^{きしねんりょ} (P.3 自殺の危機要因イメージ図)

絶えず脳裏を離れない死にたいという考え。多くは抑うつ気分に伴ってみられる。

◆ キャリアアドバイザー (P.26、47)

働く人の興味関心・能力・価値観等を引き出し、活用していくことを目的として、どのような仕事に向いているのか、仕事は適性になっているのか等を助言する専門家。

◆ ゲートキーパー (P.4、21、42)

地域や職場で発せられる自殺のサインにいち早く気づき、適切な対応を行い、専門相談機関へつなぐ役割を担う人のこと。自殺対策に関する知識を持つ人のことをいい、「命の門番」といわれている。

◆ スクールカウンセラー (P.26、46、47)

いじめや不登校等の未然防止、改善及び解決並びに学校内の教育相談体制等の充実を図ることを目的に学校に配置された、児童・生徒の臨床心理に関して高度に専門的な経験を有する者。

◆ スクールソーシャルワーカー (P.26、47)

学校をベースにしてソーシャルワーク（福祉）的なアプローチによって、子どもたちの生活の質を高めるためのサポートをする人のことで、活動の基本的な姿勢は、子どもの人格を尊重し、子どもの利益を最優先に考えた関わりをし、困難な状況を改善するために、子どもを取り巻く様々な人びと（家族・教員・友人等）や地域の環境にも注目し、それらの関係の中で問題を解決するための活動をする専門家。

◆ 性的マイノリティ (P.27、48)

身体の性と心の性が一致せず、身体の性に持続的な違和感を持つ状態（性同一性障害）にある人、恋愛や性愛の対象（性的指向）が同性または両性である人、先天的に身体上の性別が不明瞭（性分化疾患）である人等、またはそうした状態のこと。ただし、性のあり方はさまざまであり、これ以外の人または状態のことを含めて表す場合もある。

◆ **地域自殺対策政策パッケージ** (P.19)

自殺対策の総合的支援を行う自殺総合対策推進センターが作成した、自殺対策計画の策定に役立つ施策群のこと。全国的に実施されることが望ましい「基本パッケージ」と、地域の特性に応じた対策の「重点パッケージ」から構成されている。

◆ **伝達研修** (P.29、49)

研修を受講した人が、学んだ知識や習得した技術を他の職員に発表・伝達する研修のこと。

◆ **伴走型支援** (P.24、45)

支援を必要とする人が抱えている問題を解決できるように、本人に寄り添いながら、包括的かつ継続的に行う支援のこと。

◆ **メンタルフレンド** (P.26、47)

長期欠席児童・生徒を対象に、登校・通級支援、対話、遊び、学習の援助等のふれあいを通じて自主性及び自立性を育み、社会との関わりを深めるための支援を行う、人とのコミュニケーション能力に優れている満18歳から30歳までの者。

◆ **リスクアセスメント** (P.29、49)

収集した情報等から、自殺の危険性の大きさを評価すること。これに基づいて必要な対応を行う。